

アイデア工房会議・池女会で誕生したプロジェクト

平成27年度に実施するもの



I Love IKEDA 写真大募集!

町民女性編集者が、女子ならではの視点で、池田町の魅力がぎゅっとつまった情報誌『I Love IKEDA』を作成します。まちの自慢したいことや、これはいいね!と思うことを発信しましょう!!



つながれ ひろがれ じまんの池田コンテスト

観光、伝統、歴史、自然、人物等をテーマに池田町の魅力を発信する動画コンテストを開催します。動画はスマートフォンで簡単につくれます。コンテスト参加者同士で交流しながら、楽しめる仕掛けを用意しました。乞うご期待!



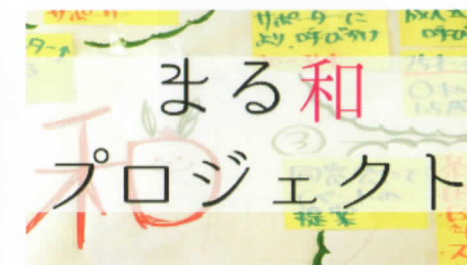
達人に学べ

池田町民による池田町民のための池田を楽しむプロジェクトです。池田町にはお料理、カメラ、日本酒、刺繍、まちあるき、遊びの達人がいます。達人とふれあいながら楽しい時間を過ごしませんか。



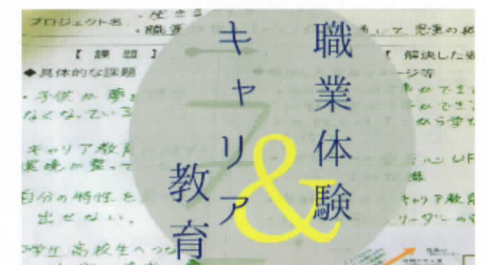
池田山を活用した体験交流ツアー創出プロジェクト

岐阜県のじまんの原石に認定されている「池田山」や山麓街道、史跡を活用して、町外の方が楽しめる体験交流ツアーづくりを目指します。



まる和プロジェクト

「会えない」「気軽に参加できるイベントがない」「地元で若者同士が集まる機会が少ない」という声から生まれた、若者コミュニティの活性化により結婚へつなぐプロジェクトです。



職業体験・キャリア教育を通じて、児童生徒の郷土愛を育む

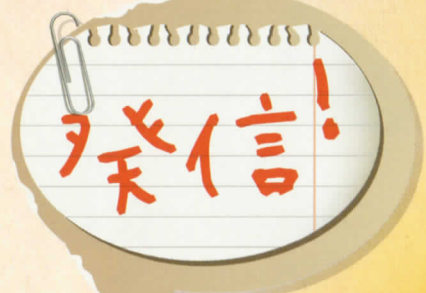
子どもたち、地域、学校、企業、行政を繋ぐコーディネーターを養成し、中高生向けの企業展の開催や、職場体験の充実、キャリア教育プログラムの作成をするプロジェクトです。子どもたちがどんな風に生きたいかを考えるキッカケづくり(やる気スイッチ ON)を目指します。

平成28年度以降に実施するもの

- ・6次産業化
- ・企業誘致計画の立案
- ・移住者向けの情報発信や移住コンシェルジュの募集
- ・ママカフェ 誕生から自立まで子どもと親に寄り添う場づくり
- ・子どもの居場所づくり
- ・町を明るくするプロジェクト
- ・空き家ワンコインカフェ
- ・ライフサポート事業

各プロジェクトの取組状況は、以下のページに掲載します。

町のHP <http://www.town.ikedatest.gifu.jp/chihouseusei/chihouseusei1.htm>
 Facebook 「岐阜県池田町地方創生ページ」
<https://www.facebook.com/Gifuikedasousei/>



IKEDA

池田の魅力!!

no

地方創生

つながれ ひろがれ じまんの池田

MIRYOKU!!

平成27年10月

岐阜県池田町

お問い合わせ先
 池田町役場企画課
 〒503-2492
 岐阜県揖斐郡池田町六之井1468番地の1
 TEL0585-45-3111 FAX0585-45-8314

池田町のこだわり

②ともにもちをつくる
行政と町民が一緒になって、プロジェクトを実行！

アイデア工房会議、池女会終了後も、生まれたプロジェクトを実現すべく、役場と町民が一緒になってプロジェクトを進めています。できあがったパンフを見て、役場だけではここまでできなかったね！という声も。



その結果、15プロジェクトが誕生！これらを全て総合戦略に位置づけました。

①「アイデア工房会議」と「池女会」
既存事業を多く抱える役場のみでは、予算面でも、人材面でも限界があります。そこで、行政と町民が一緒になって、町の課題やその解決方法を考える会を企画しました。アイデア工房会議と池女会は、それぞれ計5回、合計15時間実施。少人数グループに分かれて、各テーマについて議論。

	アイデア工房会議	池女会
テーマ	産業、観光・交通、教育、福祉、移住定住	結婚、出産・子育て、日常生活
対象	町内町外問わず老若男女	町内町外問わず20~40代の女性
参加人数	40名	28名

アイデア工房会議と池女会にて見えてきた町の目指す方向性

- ◆ 町民が町に愛着を持ち、PRできるようになる
- ◆ 人とのつながりや語らいの楽しみがある
- ◆ 町民がいきいきと働ける

町の目標値

7,550人 (2012年) → 8,000人 (2018年) **町内従業者数**
池田町に仕事をつくり、町民が安心していきいきと働ける

+2.4% (2013年→2019年) **池田町の観光客数伸び率** 町民が町に愛着を持ち、PRできるようになることで、新しいひとの流れをつくる

189名 (2014年) → 221名 (2030年) **出生数**
若い世代の結婚・子育ての希望をかなえる

86組 (2013年) → 119組 (2030年) **婚姻数**

±0人 (2015年～2020年) **10~30代の社会増減数** 中高生と社会をつなぐなど、時代にあった地域をつくる

人口目標
20,000人
(2060年)

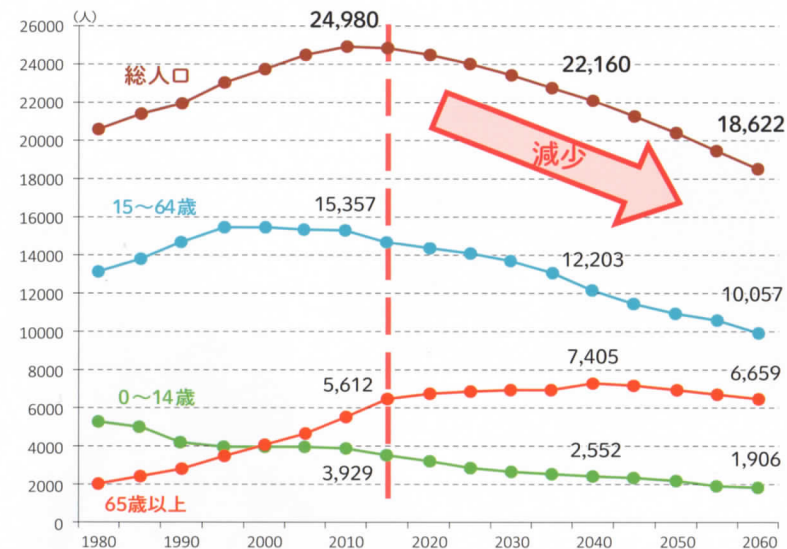


町民と行政の協働

人口減少時代を迎えた日本。

このままでは、2040年、約半分の自治体が消滅と言われていています。池田町も例外ではありません。

このまま人口が減り続けると、養老鉄道の廃線、池田高校の廃校、若い世帯の流出、子どもの声が聞こえない限界集落となる可能性があります。このような未来を子や孫に残さないため、今、**人口減少に立ち向かう必要があります。**



地方創生

人口減少に歯止めをかける有効策は、**東京への人の流れを止めること**です。それには、各地域が、**町にしごとをつくり、就労・結婚・子育ての希望を叶えること**が大切。各自治体は、地方創生総合戦略をつくり、改善を重ね、実行し続けることが求められています。